



THE BUTCHER SHOP
KUROKI

みやまに生きる人

vol.163

総合食肉卸・小売業

黒木 千佳さん

祖父母の代から50年以上続く食肉卸店で、広報・商品企画を担当する黒木さん。後継ぎとして挑戦の日々を過ごす。

【自分が輝く人生を求めて】
大学生の時に文部科学省主催のプロジェクトでオーストラリアへ留学。エコツーリズムや環境保全などを学んだ。卒業後は観光関係の仕事に就く予定だったが、就活時はコロナ真った中。改めて将来を考えた時に、「ワクワクを通じて地球を思いやるきっかけを作ること」が自分のやり遂げたいことだと再認識した。家業でそれが実現できると思い、入社を決意した。

【人々と繋がる会社へ】
家族の健康をお肉でサポートしたい

と小売業にも力を入れているが、消費者からの認知度の低さが課題だったという。商品やお店のことをもっと知ってもらいたいと、SNSでの情報発信や他社とのコラボ商品開発、イベントでの出店などを始めた。

『味がおいしいから』はもちろんですが、『この人だから』買ってみようと思ってもらえるような広報を意識しています。笑顔でハキハキと話すことを心掛け、信頼関係の構築を大切に、なんでも相談できるお肉屋さんを目指しています。

【自分で感じ、自分で学ぶ】
受け身ではなく何にでも主体的に挑戦したいという黒木さんは、現在福岡県が主催する「アトツギ・ジャンプ」プロジェクトに参加している。

「会社の中でのアトツギは私一人ですが、プロジェクトを通して多くのアトツギ仲間に出会えました。自分がやるしかないというやる気に満ち溢れた環境で、専門家からのアドバイスを受けながら学んでいます。全国の人に会社やみやま市を知ってもらえるよう挑戦し続け、もっともっと盛り上げていきたいです。」



くろき ちか

【好きな言葉】
「おかれた環境で自分らしく輝く」
落ち込んでいた時に母から言われた言葉です。

【今後の目標】
豚脂などのアップサイクル原料を使った、スキнкаア商品の開発。

みんなの幸せ願って

人権

作文



見えない障がいマークで

瀬高中学校 二年 手島 彩花

みなさんは「ヘルプマーク」という

ることを知りました。

マークを知っていますか。ヘルプマークは、日常生活などでなにかしらの困難がある人が、周囲の人に「支援や援助を必要としている」ということを伝えて、サポートしてもらいやすくなるためのマークです。ヘルプマークの対象者に明確な基準はありませんが、義足や人工関節を使用している人、内部障がいや難病の人、妊婦初期の人、精神疾患のある人、発達障がいのある人などがおもな対象になります。

確かに、車いすや松葉づえを使用している人は、まわりにいる人などのようなサポートをすればよいかを知っている人は多いです。しかし、義足や人工関節、妊娠初期の人は服でかくれていて分かりにくいことがあります。そのような人たちにはどんな配慮やサポートが必要なのか知らない人が多いと思うので、マークやシールでサポートしてほしいことを書いて、言葉で説明せずに見て分かるのはすごくいいなと思いました。

この「人権作文」を書くことで培った「人権の視点」をこれからも長く持ち続けていって、私たちがとを切に願っていますし、私たち一人一人が、差別なく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指していきたいと思いました。

人権擁護委員による人権相談(無料)
ひとりりで悩んでいませんか?

【特設人権相談所】

■日程 ①11月20日(水) ②11月29日(金)

■時間 ①13時～16時 ②10時～15時

■場所 ①山川市民センター ②あたご苑

■相談内容 いじめ、体罰、部落差別、女性差別、外国人差別、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)、借地借家、隣隣間のもめごとや悩みごとなど

【女性相談所】

■日時 11月14日(木) 10時～15時

■場所 福岡法務局柳川支局

■相談内容 原則として女性からの相談(夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクハラ、パワハラおよびストーカー行為など)

※女性の人権擁護委員が相談に応じます。

【常設人権相談所】

■時間 8時30分～17時15分

(土、日、祝日を除く)

■場所 福岡法務局柳川支局

■相談担当者 法務局職員、人権擁護委員

■相談電話番号(TEL)0570・003・110

問 福岡法務局柳川支局(TEL72・2640)



ヘルプマーク

みやま文芸

真清水俳句会

秋かみしめてふくら栗ご飯

ゴルフ場裏道ゆけば栗はじけ

句心の湧くまで歩く紅葉寺

菊の花切りて早速供えたる

新米の一粒粒光りけり

敬老会じゃんけん余興続きをり

清水句会

どの山も竹伐らぬまま荒るるまま

老いの身にまとはりついてくる残暑

落銀杏一樹の物と思はれず

道沿ひの庭に売りいる早生みかん

小鳥来て賑やかなりし山の寺

澄む水の音に沿ひ行く詣径

人々をとりこにさせる秋の馬

綿貫 惇	梅野 博山
田尻カッツ	樺島美代子
綿貫 淑子	平井 和子
江崎 倩子	森田 蓉子
古賀 麗子	宮地 末子
壇 篤子	紙田 幻草
猿渡 洋子	

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。